

# 舞鶴市議会 活動報告

- 火災を想定した避難訓練
- 大雨を想定した情報伝達訓練

## 舞鶴市議会 防災訓練実施報告

実施日：令和4年9月1日

【訓練目的】 今回も2部構成で実施 令和4年9月1日

◎舞鶴市議会では、いつ何時見舞われるか分からない**災害**に対し、**人命の尊重を第一**に議会参集者の**安全・確実な避難方法**等を確認し、また**迅速かつ正確な情報伝達方法**を確認することを目的として実施。

\*今年1月には議場で地震発生時の避難訓練を実施

《第1部》 本庁3階から火災発生時、4階本会議場からの避難訓練  
会議中の被災時に迅速かつ安全な避難行動とは

《第2部》 大雨災害時の安否確認及び被害情報伝達訓練  
議会機能維持の観点と正確な被害情報の収集を

訓練用 本会議開催中 火災報知器が鳴る

3階の火災報告 煙の吸込み防止



傍聴者避難誘導



議員も4階ロビーに避難





## 舞鶴市議会

## 防災訓練実施報告

実施日：令和4年9月1日

【第1部】 本庁3階から火災発生時、  
その1 4階本会議場からの避難訓練

議会では？ 市役所4階本会議場  
(本会議開催中)

行動は？ ① 火災報知器が鳴る。  
議長は会議を休憩する。  
事務局に事情確認を指示。

② 事務局から3階が火災で  
煙が4階へ到達との報告。  
避難経路は4階シューター。

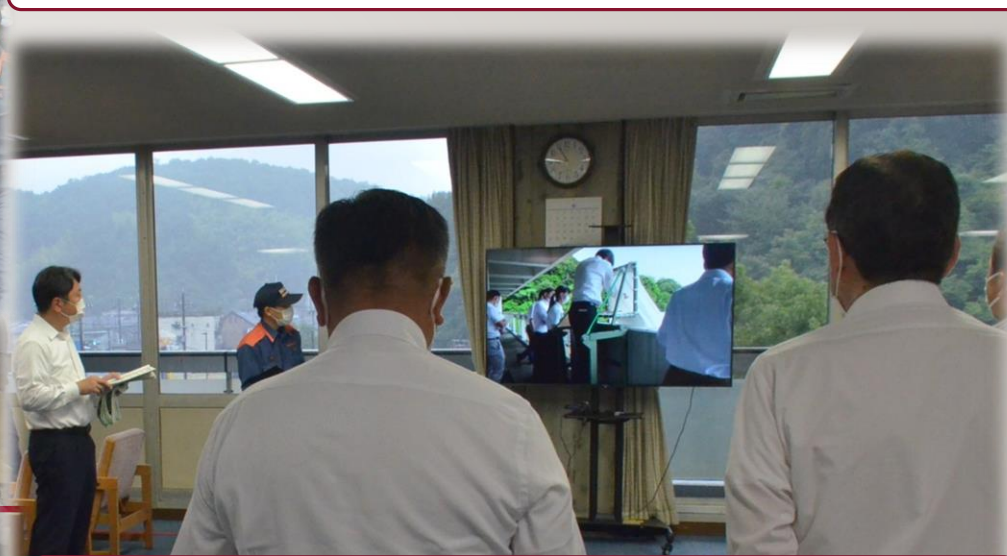
③ 議長は煙の吸込み防止と  
傍聴者の避難誘導を指示。  
引き続き議員も4回ロビーで  
姿勢を低くして待機。

④ 順次エントランスへ移動し  
シューターを使用し脱出。

\*当日は降雨のためシューターの使用は  
できず、事前に収録した映像で確認。



⇐ 避難と煙を避けるためエントランスへ移動



事前に撮影したシューター使用の映像

【第1部】 本庁4階に設置している消火栓と消火器の取り扱い説明  
その2 《説明者》 舞鶴市消防職員



## 舞鶴市議会 防災訓練実施報告 実施日：令和4年9月1日

## 【第二部】大雨災害時の安否確認及び被害情報伝達訓練

《発災想定》大雨により市内各地で被害が発生

《訓練内容》議員は大雨により市役所へ出勤できず地元で対応

①議会事務局はサイボウズ内に議員の安否確認用BOX設置の案内を各議員にメール一斉送信。《目的は定足数・議会機能の確認》

②議員はメール通知確認後、サイボウズ内に現在の居場所・安否を送信。事務局は安否報告があれば確認通知をする。

③事務局は議員から寄せられる市内被害状況を集約するため、サイボウズ内に被害状況BOX設置の案内を各議員にメールで一斉送信。《目的は市内被害状況の正確な情報提供》

④各議員は地元の被害(仮想)を想定し、実際の現場でスマホを使用し被害日時・位置図・写真・連絡先をBOX内に通知。

⑤事務局は各議員の情報を市の災害対策本部へ現状紙資料で報告。

⑥約1時間の訓練後、議会本部会議をオンラインで開催し訓練終了。議会本部会議の様様(以外の議員)はURL指定のYouTubeで視聴。

\*第2部の内容については毎回同じにし熟練度を増すために実施。

## 議員の安否確認



## 被害状況BOX





## 舞鶴市議会 防災訓練実施報告 実施日：令和4年9月1日

## 【訓練実施後の議員の所感・意見】 寄せられた一部を掲載

- ◎火災訓練は初めてであり効果的な訓練で勉強になった。
- ◎傍聴者を議場内へ誘導する際の細かな改善が必要(カギやステップ)。
- ◎4階のシューター使用に関して、細かな課題が多くあると気付いた。
- ◎当日は降雨となりシューターを使用できなかったので次回を期待する。
- ◎庁舎階ごとに消火体制が任されており、4階では議員の消火班が必要。
- ◎安否確認では未確認者が数名あり、個別に指導と教育が必要。
- ◎安否確認で実際に返答がない場合のフォロー体制が必要。
- ◎情報伝達でも実施しない・理解不足の議員が数名いることから、個別に指導と教育をし、練習を繰り返し行い熟練度を上げることが重要。

## 【事務局の実績報告と所感】

- ◎避難訓練では議長の指揮に従い緊張感を持って確実な行動ができた。
- ◎企画は4階ロビーで待機としたが、煙を考慮し一刻も早くエントランスへ誘導すべきと感じた。
- ◎情報伝達では現在行政に対し紙ベースでの対応となっているが、今後データ化の対応に向け検討が必要。
- ◎今回も事務局職員数を少なく設定し行ったが練度が増していた。



議員から情報提供



被害情報事務処理



オンライン議会本部会議